

# NATIONAL PARK PAINTING EXHIBITION

## 風景を 見る眼

— 国立公園絵画展 —

2022.4.9 [土] ~ 7.3 [日]

開館時間：9時30分～17時 ※入館は閉館30分前まで 休館日：毎週月曜日

入館料：一般730(650)円、大学生510(460)円、高校生以下は無料

※( )内は20名以上の団体割引料金 ※第3日曜日「家庭の日」(4月17日、5月15日、6月19日)は、大学生は無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、日光市公共施設使用料免除カードの交付を受けた方とその付き添いの方1名は無料

主催：公益財団法人 小杉放菴記念日光美術館、日光市、日光市教育委員会

新型コロナウイルス感染症の状況により、会期等が変更になる可能性があります。  
お出かけ前に、当館ホームページをご確認いただきますよう、お願い申し上げます。

KOSUGI HOAN  
MUSEUM OF ART,  
NIKKO



小杉放菴記念日光美術館

〒321-1431 栃木県日光市山内2388-3

Tel: 0288-50-1200 <https://www.khmoan.jp/>



和田英作《三保富士》(部分) 1953年(左上) 石井柏亭《雲仙・春》(部分) 1934年(右上) 川口軌外《英虞湾》(部分) 1953年(下) ※作品はすべて小杉放菴記念日光美術館蔵





1



2



3



4



5



6



7

1. 猪熊弦一郎《塩原の溪流》1953年 ©公益財団法人ミモカ美術振興財団  
 2. 児島善三郎《発哺よりの展望》1953年  
 3. 藤島武二《屋島よりの展望》1932年  
 4. 小杉未醒(放菴)《琉球風景》1916年  
 5. 入江観《湖畔晩夏》2015年  
 6. 五百城文哉《東照宮・五重塔》1892-1905年頃  
 7. 小杉放菴《巖島風景》1933年

# 風景を 見る眼

— 国立公園絵画展 —

## NATIONAL PARK PAINTING EXHIBITION

いつの時代も、私たちを魅了してやまない風景画。それは目の前の風景をただ単に写し取ったのではなく、画家が感興を覚えた風景を独自の筆遣いで描いたためだと言えます。

開館以来、風景画の収集に努めてきた当館は、2012年に「国立公園絵画」コレクションを収蔵する機会に恵まれました。「国立公園絵画」とは、国立公園の制度が整いつつあった昭和初期、その普及の一環として、当時を代表する洋画家たちによって手がけられた風景画を指します。戦災などで多くの作品が失われたものの、戦後、次世代の洋画家たちが制作に参加。約80年の歳月を経て、2009年に全80点が揃い、近現代の洋画史を概観できる一大風景画コレクションとなりました。そして、国立公園の制度づくりに

日光が深く関わっていたこと、当館が国立公園内に位置する数少ない公立美術館であるという由縁から、財団法人国立公園協会よりこのコレクションが寄贈されるに至りました。

洋画家として独自の足跡を残した小杉放菴も、国立公園絵画を手がけましたが、残念ながらその作品は戦災で失われました。そこで本展では、国立公園絵画コレクションから選りすぐった作品を中心に、小杉放菴をはじめとする当館所蔵の風景画の数々を併せて紹介することで、近現代の風景画の諸相をご覧ください。

風景を見つめた画家の「眼」と、その筆遣いをぜひ会場でお楽しみください。

作品はすべて小杉放菴記念日光美術館蔵

### 【会期中のイベント】

担当学芸員によるギャラリートーク ※予約不要・要入館料

■4月23日(土)、5月15日(日)、6月18日(土)

■各日11時～(各回1時間程度)

### 【次回予告】

開館25周年記念 大観とその時代 光ミュージアム名品展

■2022年7月9日(土)～9月11日(日)

新型コロナウイルス感染症の状況により、会期等が変更になる可能性があります。お出かけ前に、当館ホームページをご確認いただきますよう、お願い申し上げます。

### 【交通案内】

電車／東武日光駅、JR日光駅から清滝・細尾、中禅寺・湯元、西参道(東照宮)方面行きバス5分。「神橋」停留所より徒歩3分。  
 車／日光宇都宮道路・日光インターから約2km。併設の市営駐車場をご利用ください。美術館受付で駐車券を提示していただくと、1時間まで無料となります。

KOSUGI HOAN  
MUSEUM OF ART,  
NIKKO



小杉放菴記念日光美術館



〒321-1431 栃木県日光市山内2388-3  
 Tel: 0288-50-1200 <https://www.khmoan.jp/>

